



城東図書館 2025年9月19日～10月15日実施

まちのひと 吉城健太郎 さんの紹介本リスト

城東蒲生郵便局 局長

ジェイソン流お金の増やし方 コレだけやれば貯まる！

厚切りジェイソン／著 ピあ

少し前にこの本が流行した時には読まなかったが、郵便局で投資信託を取り扱っている中で自分なりに再度勉強しようと思った時に見つけました。

芸人さんなので難しいことを非常にわかりやすく読みやすく書かれていて、投資信託だけでなくお金について学ぶことができました。

水滸伝 1～19

楊令伝 1～15

岳飛伝 1～17

北方 謙三／著 集英社

中国を舞台にした歴史物は三国志の漫画を高校生の時に読み、友人と登場人物について話をよくしました。最近、キングダムも映画や漫画で読み三国志とはまた違ったストーリーや人物の魅力にハマってしまいました。水滸伝シリーズはたくさんの登場人物がいますが、全員に共通しているのが「志」を持っていることです。企業でも経営理念があると思いますが全社員がその想いに向かって働いていると強い企業になるだろうなと思いました。

100 かいだてのいえ

いわい としお／[作] 偕成社

この絵本が特徴的なのは縦に読むので、子供に見せながら読むのが大変でした笑

けれど、各階ごとに色々な住人が出てくるのでページをめくるワクワク感や、一緒に数字を100まで数えるのが楽しかったです。

バムとケロのにちようび

島田 ゆか／作 絵 文溪堂

この作品から「バムとケロ」シリーズに親子でハマってしまい、その後の「バムとケロのそらのたび」「バムとケロのさむいあさ」も何度も何度も読みました。絵も可愛いですがケロが面白いことをするし、バムの優しさに溢れた作品です。

舟を編む

三浦 しをん／著 光文社

最近パソコンやスマホばかり使っているので漢字がなかなか出てこない笑

わからないことはスマホで検索すればすぐに答えが見つかる。AIに任せれば文章や企画の提案までしてくれる。けれど、子供のころはわからないことを親に聞くと「辞書で調べなさい」とよく言われました。辞書には答えが載っているが、その答えを誰かが考えていると思ってもしなかった。1つの言葉に色々な意味があり、その一つ一つの意味を考えている人達がいてることを気づかせてくれました。

俺たちの箱根駅伝 上・下

池井戸 潤／著 文藝春秋

2014年情熱大陸に出演。お正月についてテレビで見えてしまい、気がついたらお正月が終わってしまうことがここ数年のお正月休みだが、そこに出場している選手や監督だけでなく、放送するテレビ局の苦労などが書かれており、読んでからますます箱根駅伝に注目するようになりました。特に、池井戸潤さんがこの小説を書こうと思ったきっかけが、箱根駅伝を見ていれば聞いたことがある「小涌園」がきっかけであり、作中にある「小涌園」にまつわる話やスポーツとメディアの関係性など選手以外にも注目の作品です。

表示 4.0 国際 (CC BY 4.0)

転載等の際は “大阪市立城東図書館「まちのひと文庫」推薦文“との表記を入れてください

大阪市立城東図書館

大阪市城東区中央 3-5-45 06-6933-0350

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>